

物語的説明はメカニズム的説明か——歴史学の場合

苗村 弘太郎 (Kotaro Namura)

京都大学

近年、科学的説明論争において、物語的説明 (narrative explanation) という説明様式が新たな話題として浮上りつつある。物語的説明とは、一回きりの過去の事象を対象とする歴史科学 (historical science) に特に見られる説明様式とされており、具体的には、人間社会の過去を扱う歴史学の他に、自然界の過去を扱う地質学や古生物などにおける説明が想定されている。物語的説明という説明様式は Hempel の説明モデルに対する批判の一環として提案されたが (たとえば, Danto 1965; Hull 1975)、科学的説明論争の主流には顧みられてこなかった。だが、科学哲学において歴史科学に対する関心が高まるにつれて、この説明様式は再び注目を集めつつあり、盛んに議論がなされている。

近年の物語的説明に関する議論には、大きく分けて二種類の系統が存在する。第一の系統が、かつての Hempel モデルに対する批判を掘り起こしながら、それを現代的に再構成しようとする議論である (Currie 2019; Ereshefsky & Turner 2019; Roth 2020)。この系統の議論が特に注目するのが、Danto (1965) による議論である。第二の系統が、現在有力な説明様式とされているメカニズム的説明との比較を通じて、物語的説明を理解しようとする議論である (Glennan 2010, 2014, 2017; Little 2010, 2018; Currie 2014, Swaim 2019)。この系統の議論は、Danto らによるかつての議論には注目せず、歴史科学における説明をメカニズム的説明の特殊な形として捉えることができるかに議論を集中させている。

このような二つの系統の議論はそれぞれに問題を抱えている。一方で、第一の系統の議論は、物語的説明は通常の因果的説明とは異なるという興味深い論点を提示しているものの、科学的説明論争の進展を踏まえず、Hempel モデルとの比較で物語的説明を特徴づけるため、現在の科学的説明論争における物語的説明の位置づけを不明確なままにしてしまっている。他方で、第二の系統の議論は、メカニズム的説明との比較という観点に基づくため、科学的説明論争の現状を踏まえた議論になっている一方で、Hempel モデルに対してなされた批判には目をほとんど向けておらず、そのために物語的説明の重要な特徴を見落としてしまっている疑いがある。

このような問題を解決するには、第一の系統の議論、および、彼らが注目している Danto (1965) の議論を、メカニズム的説明との比較を通じて再検討することが必要になる。本発表が取り組むのはこのような課題である。もっとも、これらの議論の対象は人間社会の歴史を扱う歴史学から自然界の歴史を扱う諸分野に広くまたがっており、その全てを扱うのは難しい。今回の発表では、対象領域を歴史学に絞り、物語的説明はメカニズム的説明の一種と言えるのかを論じたい。

より具体的には、Gangl (2019) が歴史学における物語的説明とメカニズム的説明

の比較検討をしているので、Gangl (2019) による論争の整理を手掛かりとしながら、次のことを主張する予定である。第一に、物語的説明は因果的説明の一種であり、メカニズム的説明の一種と捉えることができる。第二に、物語的説明は単なるメカニズム的説明よりも厳しい要件を持つ説明である。その要件とは、(1) 主題の統一性、(2) 継時的配列、(3) 因果的結合、の3つである。

参考文献

- Currie, A. M. (2014). Narratives, Mechanisms and Progress in Historical Science. *Synthese*, 191(6), 1163–1183.
- Currie, A. M. (2019). *Scientific Knowledge and the Deep Past: History Matters*. Cambridge University Press.
- Danto, A. C. (1965). *Analytical Philosophy of History*. Cambridge University Press.
- Ereshefsky, M., & Turner, D. D. (2019). Historicity and explanation. *Studies in History and Philosophy of Science Part A*, 80, 47–55.
- Gangl, G. (2019). Narrative explanations: The case for causality. *Journal of the Philosophy of History*, 15(2), 157–181.
- Glennan, S. (2010). Ephemeral Mechanisms and Historical Explanation. *Erkenntnis*, 72(2), 251–266.
- Glennan, S. (2014). Aspects of Human Historiographic Explanation: A View from the Philosophy of Science. In M. I. Kaiser, O. R. Scholz, D. Plenge, & A. Hüttemann (Eds.), *Explanation in the Special Sciences: The Case of Biology and History*, pp. 273–291. Springer Netherlands.
- Glennan, S. (2017). *New mechanistic philosophy*. Oxford University Press.
- Hull, D. L. (1975). Central Subjects and Historical Narratives. *History and Theory*, 14(3), 253.
- Little, D. (2010). *New Contributions to the Philosophy of History*. Springer.
- Little, D. (2018). Disaggregating historical explanation: the move to social mechanism. in S. Glennan and P. Illari(Eds.), *The Routledge Handbook of Mechanisms and Mechanical Philosophy*, pp. 413–422. Routledge.
- Roth, P. A. (2020). *The Philosophical Structure of Historical Explanation*. Northwestern University Press.
- Swaim, D. G. (2019). The Roles of Possibility and Mechanism in Narrative Explanation. *Philosophy of Science*, 86(5), 858–868.